

会長メッセージ

企業価値の最大化に向けて 既存事業のさらなる強化と新規事業の育成に努め 安定成長を実現できる 利益構造の構築をめざしています。

2018年3月期の当社アニュアルレポートをお届けいたします。

2018年3月期の業績をご報告申し上げます。私たちは、日々のたゆまぬ経営努力の結果、8期連続の増益を過去最高益で達成することができました。この最高益更新に大きく寄与したのは、アメリカのシンテック社でございます。また、半導体シリコン事業が旺盛な需要を的確にとらえることで業績を大きく伸ばし、シリコン事業が全世界での拡販に注力して業績を伸長させました。

私どもは、経営努力の成果を正当に株主の皆さまに還元することを基本方針としており、当期の年間配当金は前期に比べ、20円増の一株当たり140円いたしました。これにより3年連続の増配となります。

当社グループでは、企業価値の最大化に向けて、あらゆる経営努力を払っております。中でも利益額の成長を最も重視しております。現在、世界経済は大きな環境変化の中にあり、ますます不透明感が高まっています。このような環境下で、安定した成長を継続していくために、既存の事業をさらに強くし、特定の事業に過度に依存しない利益構造の構築をめざしています。

私たちは、主力事業として「塩化ビニル(塩ビ)」「半導体シリコン」そして「シリコン」に注力しております。各事業は当社グループの成長の柱であり、それぞれ異なる市場において当社の強みを発揮しております。しかしながら、今後いっそうの成長を図る上で、各事業のさ

らなる強化が必要です。そのために、迅速な意思決定、積極的な設備投資、リスク分散といった基本姿勢を堅持しながら、経営に取り組んでいます。

塩ビは汎用樹脂であり、収益性の面で差別化することが難しいと考えられています。しかし、当社グループのシンテックは、業界一の収益力と安定した利益成長を実現しています。これは、長年にわたって製造設備の革新、フル生産と全量販売、きわめて合理的で簡素な組織の構築、納期遵守、市場動向を見据えた積極的な増設などの経営努力を継続的に重ねてきた結果でございます。シンテックでは、現在、塩ビの主原料の一つであるエチレンを生産する工場の建設を進めております。これにより、塩ビの原料からの一貫生産体制がより強固なものとなり、世界最大の塩ビメーカーとしての地位をさらに強化することができます。この事例からもわかりますように、当社グループでは、既存事業をさらに強くすることで、安定した収益力の向上に努めています。

また、将来にわたって成長力を確保していくには、既存事業の強化とともに、新規事業の育成が不可欠です。私たち

が持つ経営資源を有効に活用しながら新規事業を育成していくことが大切であり、それゆえ、既存事業を通じて培ってきた技術や知見が活かせる分野に特化して新規製品の開発を進め、その事業化に力を注いでおります。

このような経営努力の積み重ねにより、私たちはこれからもあらゆる事業分野において、より高い目標を掲げ、それぞれの事業で世界のナンバーワンをめざしてまいります。また、バランスのとれた事業ポートフォリオを構築して、会社全体で継続的な成長を実現して企業価値の最大化を図ってまいります。

皆さまには、当社グループの事業および経営につきまして、今後ともご理解いただき、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

金川千尋